

たかのす

昭和62年

8月15日

No. 606

発行日 毎月 1 日・15 日

◆編集と発行 蘭嶺町役場総務課広報秘書係

◆印 刷 所 K.K 成 文 社



まだまだ若いもんにや……。

オールドパワー、一喜一憂

町老人クラブ連合会主催による第1回ソフトバレー大会が8月5日北健康増進センターで、町内男女16チーム参加のもとに行われました。どのチームも練習のあとをうかがわせ、大熱戦にさかんな応援を送っていました。「ゲートボールとどちらが？」の問い合わせに「疲れるがバレー」と笑顔で語ってくれました。

人口と世帯数
(住民基本台帳による)

7月31日現在		(前月比)
総人口	24,690人	(23人増)
(出生	23人	転入 60人)
(死亡	13人	転出 47人)
男	11,987人	(13人増)
女	12,703人	(10人増)
世帯数	7,302世帯	(4世帯減)

シートベルトと気を引き締め

ストップザ交通事故



交通安全を呼びかけ麦茶のサービス

昨年七月二十三日坊沢地内の国道七号線で発生した死亡事故を最後に現在まで“死亡事故ゼロ”を記録し続けております。毎年尊い命が交通事故で奪われ、特に昭和四十六年には七人の方が犠牲となっています。このような惨事をくりかえしてはなりません。死亡事故ゼロ一年目を契機に全町民が一丸となり、さらに一〇〇〇日を目標に交通事故撲滅運動を展開しましょう。

夏の交通事故撲滅運動は、八月からスタートしました。帰省で長距離運転のドライバーが増え、疲労からくる事故が多発しかねないため、県外ナンバーのドライバーらに冷たい麦茶のサービスなど、さまざまな取り組みが行われました。

当町の過去十年間の事故統計から死亡事故原因を見ると

いねむり運転、前方不注視、安全速度、酒酔運転の順になつており、全体の九六%を占めています。

昨年度の交通事故発生状況は次のとおりです。

- ▽前方不注視 二十一件
- ▽安全速度 二十六件
- ▽いねむり運転 三件（死者一人）
- ▽一時不停止 三件
- ▽追越し 不適当 一件
- ▽酒酔い 一

- | | |
|--------------|--------|
| 件（死者一人） | ▽その他 |
| 十八件、計六十三件です。 | |
| また、月別発生状況では、 | |
| ▽一月 八件 | ▽二月 四件 |
| ▽三月 四件 | ▽四月 五件 |
| ▽五月 二件 | ▽六月 八件 |
| ▽七月 七件 | ▽八月 八件 |
| ▽九月 六件 | ▽十月 三件 |
| ▽十一月 三件 | ▽十二月 |
| ▽十一月 五件 | |
| ▽七月 五件 | |
| ▽九月 五件 | |
| ▽十月 五件 | |

交通事故はまことに悲惨であります。私達は交通事故の悲惨さに正しく目をむけ、事故による死傷者をとりまく多くの人々の悲しみや恐しさを知ることも安全運転に大切なことです。

八月は飲酒運転追放県民運動強調月間とシートベルト着用推進月間です。あなたも飲酒運転追放三ない運動”を強力に推進し、シートベルトと気を引き締め“一〇〇〇日目標運動”に参加しましょう。

酒酔い運転は、件数の割合こそ少ないものの死亡事故に直接結びつけます。「一杯ぐらいだいじょうぶ」が一番危険なのです。

第31回 町民盆踊り大会

8月16日から17日までの2日間、銀座通り（衛生堂～秋田銀行鷹巣支店前）で恒例の盆踊りが開催されます。賞品をたくさん用意し

ておりますので、多数参加ください。

- ▶時間 ○子供の部…午後7時～7時30分
- 大人の部…午後8時～9時30分

県道大館鷹巣線

六十四年度に全線開通

自衛隊施工で改良に着手

昭和三十二年に県道認定されながら、いまだに未開通で「幻の県道」の異名をとっている大館鷹巣線は、六十四年度の開通を目指して、改良工事が実施されることになり、七月二十八日工事の安全祈願祭が行われました。

県道大館鷹巣線は、昭和三十二年、大館市から田代町を通り鷹巣町に至る総延長一九・五キロメートルの一般県道として認定され、大館市と鷹巣町を結ぶ最短ルートとなっていましたが、未改良区間が一三・四キロメートルにもおよび、幅員が狭いうえ特に山間部の三・六キロメートルは地形が急峻で自動車での通行が不可能で、地元住民からは早期開通が強く要請されていました。

土木工事として実施することになったものです。

完成しますと、東北縦貫自動車道へのアクセスはもとより、国道七号線、国道二八五号線の代替機能も担うことになり、地域の経済や文化の向上にも大きく貢献するものと期待されています。

改良区間は、完成断面での計画土工量が切土三十六万一千立方メートル、盛土三十六万一千立方メートルと大規模なため、県は陸上自衛隊に協力を要請、本年度から三ヶ年計画で陸上自衛隊第一施設団が部分的に着手す



町長曰く

山川禪一
7月16日~31日

城県松島町まで一行百四人と同乗し、同夜帰郷する。
20日(月)臨時町議会。議会推選による農業委員一人の選出外、物品購入についての議会審議である。

23日(木)大館北秋公共事業推進協議会の総会。北秋田大館選出の県議会議員及び各市町村長等をもつて構成。主として当管内における公共事業の拡大を求めて、運動等関係方面に展開するものであり、当日は、

24日(金)農業委員会総会。町長招集で、会長及び職務代理を選出するための会議である。新農業委員の任期は七月二十日から向う三年間である。

26日(日)第十八回全日本大学選抜相撲秋田大会。この大会は、全国で年間五箇所だけで開催される権威ある大会である。

27日(月)鷹巣阿仁広域市町村圏組合定例議会に出席。

28日(火)県河川治水協会及び県防災協会の役員会、総会が秋田市で開催され出席した。

29日(木)県農業信用基

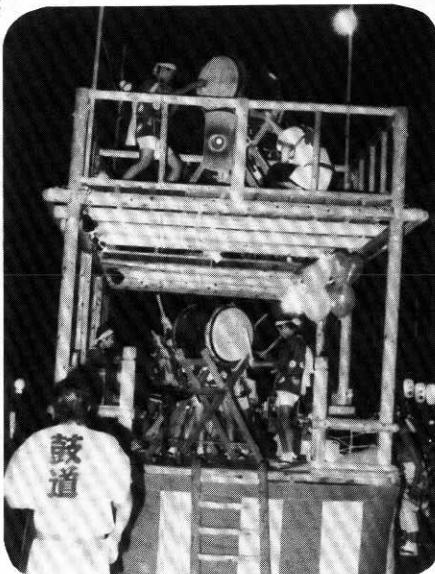
16日(木)~17日(金)秋田県町村委会の陳情。昭和六十三年度の政府予算編成に反映させるべく、県町村委会の主要要望事項の陳情を行つた。会長、委員長等各省

16日(木)~17日(金)秋田県町村委会の陳情。昭和六十三年度の政府予算編成に反映させるべく、県町村委会の主要要望事項の陳情を行つた。会長、委員長等各省

16日(木)~17日(金)秋田県町村委会の陳情。昭和六十三年度の政府予算編成に反映させるべく、県町村委会の主要要望事項の陳情を行つた。会長、委員長等各省

16日(木)~17日(金)秋田県町村委会の陳情。昭和六十三年度の政府予算編成に反映させるべく、県町村委会の主要要望事項の陳情を行つた。会長、委員長等各省

真夏の祭典に



二十五日の例大祭に四万一千人余りの人出でございました。宵宮は小雨模様となりましたが祭りの風物詩となっている夜店に子供たちは目を輝やかせ、金魚すくいや、お日あてのオモチャ屋に立ちどまり親にせがむ光景が見受けられました。

二十五日は絶好のお祭り日和となり、子供みこしや曳山が威勢よく練り歩きムード

二十五日の例大祭は七月二十四日の宵宮と物诗となっている夜店に子供たちは目を輝やかせ、金魚すくいや、お日あてのオモチャ屋に立ちどまり親にせがむ光景が見受けられました。

二十五日は絶好のお祭り日和となり、子供みこしや曳山が威勢よく練り歩きムード

全町家庭婦人バレーボール大会

ママさんに大きな声援

を盛りあげました。またおなじみの鷹巣はやしや無限太鼓、ことし初披露の和太鼓保存会は一階建の曳山を登場させ見物人はビックリ。圧巻は日本一綴子大太鼓、お祭りには欠かせない存在となりました。

「大太鼓の里づくり」にふさわしい活力溢れる太鼓の熱演に祭典は最高潮に達し、見物客も一段と華やいだ雰囲気に包まれ、夏本番を満喫していました。

三十二回目をむかえた全町家庭婦人バレーボール大会は七月十二日十一チーム参加のもと、鷹巣体育館で熱戦がくりひろげられました。日頃の家事から開放されたママさんは、子供たちの応援に若さあふれるハッスルプレーを随所にみせていました。

成績は次のとおりです。

【Aブロック】

▽今泉2-1鷹巣▽綴子C

2-0緑ヶ丘▽綴子C 2-1

0鷹巣▽緑ヶ丘2-1今泉

【Bブロック】

▽藤株2-0綴子A▽坊沢

B 2-0綴子A▽坊沢B 2-1

0藤株

【Cブロック】

▽緑ヶ丘2-10鷹巣▽綴子

C 2-0今泉

【決勝トーナメント】

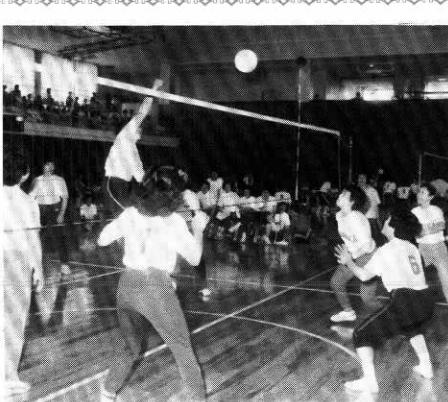
▼一回戦▽堂ヶ岱2-0

0緑ヶ丘▽綴子C 2-1

0前山▽藤株2-0綴子

B ▽坊沢B 2-1今

泉▽三位決定戦綴子C 2-0藤株▽準決勝▽堂ヶ岱2-1綴子C ▽坊沢B 2-0藤株▽決勝▽坊沢B 2-0堂ヶ岱



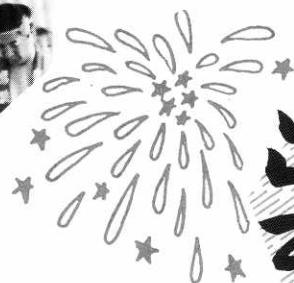
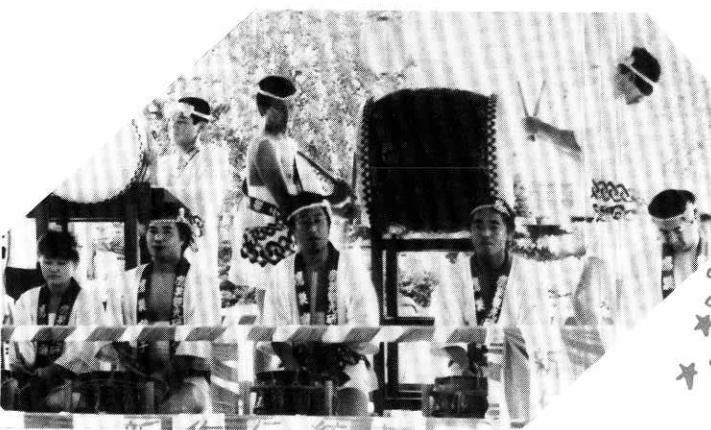
A ①坊沢B ②藤株③綴子
④堂ヶ岱2-1綴子C ▽坊沢B 2-0藤株▽決勝▽坊沢B 2-0堂ヶ岱



▶ 各商店会の曳山は民謡や踊りを披露した



▶ 大熱演に声援がどぶ



五千人がくじ出す

▲ 「あれほしいなア」
夜店はチビッコの天国



さわやかな道路は、あなたのマナーから。道路は正しく利用しましょう。

▽ 道路に空缶、すいがら等ゴミを捨てないように。

▽ 道路を広告物、商品等の置場としないように。

八月は「道路を守る月間」です

町職員上級資格試験

町職員採用資格試験を行います。受験希望者は、秋田県町村職員（上級）採用統一試験要領により、受験申し込みください。

上 級 職 員

■採用予定人員

一般行政事務職員 若干名

■受験資格

昭和33年4月2日～昭和41年4月1日生まれ
10月4日(日)二次試験は一次試験合格者について通知します。

■試験日(一次)

秋田県自治会館(県庁うら)

■申込受付

8月21日(金)から9月10日(木)まで、「勤務時間内」に役場総務課庶務係(二階)に申し込みください。

■住所要件

- (1)鷹巣町に住所(住民登録)を有している者。
- (2)町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主(両親等)が鷹巣町に住所(住民登録)を有している者。

最近悪質な催眠商法が横行し、県内で被害が急増しています。特に女性や高齢の方が被害にあつておおり、鷹巣町では昨年度に二十一件も相談に訪れております。

手口は、おおむね次のとおりです。被害にあわないよう注意してください。

▽新商品の紹介だから買わなくともよいと言って、日用品を無料で配布し、手を挙げさせているうち、高額な寝具類を買わせてしまう。

▽頭金と称して、その場で配布した日用品相当額を現金で徴収し、残金は後日一括払いすることを約束させる。

▽クリーニングオフ（無条件解

し、県内で被害が急増しています。

特に女性や高齢の方が被害にあつておおり、鷹巣町では昨年度に二十一件も相談に訪れております。

約手続き済みにもかかわらず、配付した日用品代相当として支払済額の返金に応じない。

次のような悪質手口にも気をつけよう

- ▽危険商法＝消火器、トイレファンなどを点検し、こわれているなどと言って、新しい物を売りつける。
- ▽紹介商法＝代理店になつて、知人を紹介してくれれば紹介料を払う。
- ▽開運商法＝印かん、つばなどを幸運に向かうと言つて売りつける。
- ▽原野商法＝儲かる土地と勧められたが、実は荒地だった。
- ▽健康商法＝機器など、長寿の薬などと売りつける。
- ▽海外先物取引＝今買えば必ず儲かります……と甘い言葉で強引に話しかけてくる。
- ▽さむらい商法＝講習を受ければ無試験で資格が得られる。

気をつけよう うまい話に!!



悪質訪問販売の被害にあわないために

- ▽何の目的でたずねてきたのかを具体的に確かめる。
- ▽購入意志のない時は、はじめからきっぱり断わること。断わっても帰らないときは、すぐ一一〇番。
- ▽うかつに署名、押印をしないこと。
- ▽即金払いをしないこと。
- ▽契約の内容を明らかにした書面を受け取ること。
- ▽トラブルが生じたら、できるだけ早く役場商工課、商工振興係（☎62-1111-111内線一五二）へご相談ください。

極左暴力集団壊滅のために ご協力ください

極左暴力集団は、テロ、ゲリラをめざす動きを一層強め、時限式爆発物発射装置を使用したり、圧力釜爆弾の製造など、ますます行動をエスカレートさせ、その内容も悪質、無差別化しています。

また、暴力集団の犯行には、盗難車が多く使われています。

警察では、活動家のアジト等発見に、総力を挙げて取り組んでいます。不審な点を見たり、聞いたりしたときは、ご連絡を。

鷹巣警察署☎62-1245へ

福祉医療受給者証の更新を忘れないませんか！

福祉医療費支給制度による受給者証は、8月から新しくなりました。

該当する受給者は、次のとおりですので至急更新してください。更新していないと、病院で受け付けてできない場合があります。

- 乳幼児、母子家庭、父子家庭の児童、高齢身障者、老人保健法適用者の高齢身障者で有効期間が7月31日までとなっている方
- 受給者証、印鑑、保険証、身障手帳を持参のうえ保健課、国保係（☎62-1111内線132）へおいでください。

この認定試験は、病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のために、義務教育諸学校に就学することができず、就学を猶予又は免除された者等に対し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかについて認定試験を行い、合格者に高等学校入学資格を与えるものです。

◆受験資格＝昭和六十三年三月三十一日までに満十五歳以上になる者で、次のいずれかに該当する者。

△現在、義務教育諸学校への就学を猶予又は免除を受ける者又は以前に受けた者

△旧尋常小学校又は旧国民学校への就学の猶予又は免除を受けた者

△卒業できなかつた者で、手続きをして猶予又は免除を受けなかつたが、事由があつた

おしらせ



就学義務免除者の 中学校卒業認定試験

九

献血にご協力 してください

献血車が次の日程で巡回します。多くの方がご協力くださるようお願いします。

献血者には、健康管理に役立てるために、血液中のコレステロール量など六項目の検査サービスを行っております。

△17日＝△役場（午前十一時～正午）△北秋田総合庁舎（午後一時三十分～二時五十分）△NTT鷹巣電報電話局（午後三時～四時）

交通安全に する作品募集

県では、交通事故防止を図るために、一般、大学、高校、小学生を対象に交通安全に関する作品を募集します。

プールへのお問合せは
62-12392へ

△26日＝△街道町、新屋敷町、前山（伊勢堂地区一部）
時間はいずれも午前九時から十時三十分までです。

△26日＝△街道町、新屋敷町、前山（伊勢堂地区一部）
時間はいずれも午前九時から十時三十分までです。

夜間当番医（夜間診療）の日程表 (午後6時30分～9時)

8月	曜日	医療機関名
16	日	戸嶋産婦人科医院
17	月	近藤 医院
18	火	戸嶋 医院
19	水	奈良 医院
20	木	佐藤外科消化器科医院
21	金	北秋中央病院
22	土	藤原 医院
23	日	佐々木産婦人科医院
24	月	盛岡 外科 医院
25	火	戸嶋産婦人科医院
26	水	近藤 医院
27	木	戸嶋 医院
28	金	佐藤外科消化器科医院
29	土	北秋中央病院
30	日	奈良 医院
31	月	藤原 医院

急患以外は受付けません。

胃集団検診日程表

月日	曜	検診会場	対象地区
8.17	月	前野会館	昭和、前野
18	火	緑ヶ丘担い手一	緑ヶ丘
19	水	藤株会館	藤株、小摩当
20	木	葛黒林業センター	葛黒、大畠
21	金	鷹巣町中央公民館	伊勢町、宮前町 材木町
22	土	〃	東横町、新舟見町
25	火	〃	住吉町
26	水	〃	旭町
27	木	〃	元町
28	金	〃	大町、幸町、花園町
29	土	〃	米代町、舟見町
31	月	〃	松葉町、その他

（くわしいことは保健課 62-1111 内線135へ）

と文部大臣が認めた者

◆募集種目＝標語、作文（論文、詩歌）、ポスター（図画）の三種類

◆試験の期日・場所＝十一月六日、県立秋田東高等学校

◆願書受付期間・場所＝九月九日まで、県教育厅高校教育課（秋田市山王四丁目一の二）

※くわしいことについては、同課へお問い合わせください。（☎ 0188-160-1217）

地域ぐるみで青少年の健全育成をはかるうと、公民館では『地域座談会』を開催。七月二十一日の坊沢地区を皮切りに、二十七日は七座地区、三十日は栄地区で行われました。

どの会場にも、たくさんの方々が参加しましたが、今年度は子供の教育問題と地域の環境づくりについて協議。とにかく、家庭における子育ての理解を深めるため、幼稚園や小中学校、高校の先生方にも話題提供ならびに助言者として参加いただき、地域の子供の実態を述べるとともに、指

みんなで育てよう 自立できる子に

公民館 地域座談会



導の手立てについて話し合われ主要な要旨は次のとおりです。

年齢相応の仕事を分担

子供たちは、兄弟が少ないで、ほとんどが一人遊びしているようだ。テレビやビデオ、ファミコンと孤独な生活に向かってステップするという傾向にある。勝負よりもうな目標を定め、努力した結果を反省し、次の大きな目標に向かって成長していくことには、必ずしも「親になることはやさしいが、親であることはむずかしい」という反省が述べられる一幕もあり、意義ある

な話し合いがなされました。また家庭では、年齢に合った仕事を分担し、喜んでお手伝いをする子供に育てる事が大切で、手伝いの代償として金を与えるのは問題だと指摘されました。

目標に向けてステップ

いまの嫁さんは、働きに出ているので、集落の一員としての考えが少ないようだ。したがって、大人どおしのあいさつも忘れられがちになつているようだが、子供たちが明るく元気になるよう、大人から進んで声をかけようという意見が出されました。

スポーツも盛んでも体が丈夫になることはよいことだが、勝つことだけに熱中している傾向にある。勝負よりもうな目標を定め、努力した結果を反省し、次の大きな目標に向かって成長していくことには、必ずしも「親になることはやさしいが、親であることはむずかしい」という反省が述べられる一幕もあり、意義ある

地域座談会となりました。



「八幡太郎 義家の肝つ玉の大きい話」「たのしかつ

野呂萬助
(一八九八—一九六二)

鷹巣小学校で研究会があると、野呂萬助先生の授業

昭和十八年四月、七座

国民学校長となり、二十

三年五十歳で定年退職、

坊沢村会議員、同教育

長、昭和三十年、町村合

併により鷹巣町教育委員会学校教育課長となり、三十六年現職のまま死去

六十三歳。(二男野呂正

男、教え子九島武雄氏談

による。文責 長崎久

ふるさと 人物伝

た体操の時間のオパッコとり」、その他、算術、唱歌など、平素の授業の場面を

教え子達は今でも思い出し語ってくれた。

明治三十一年、坊沢村字大向、野呂常吉の長男として生まれた彼は、念願かな

つて大正三年、北秋田郡立鷹巣准教員養成準備場を卒業、沼館小(大館市)木戸石小(合川町)を経て大正五年、鷹巣小学校訓導となり、以来昭和十八年までの二十七年間、郡都の中心校に勤続することになる。それは苦しい家計にありながら教育技術の書をよく購読し、指導法に創意工夫の実践を積み重ねる精進の賜であつた。



サンシャイン銀座、起工まぢか

銀座通り商店会はアーケードの老朽化にともない、総工費2億2,400万円で、全面改修することになりました。新しいアーケードは採光や歩道空間に配慮したモダンなもので、材質は飛行機の窓ガラスと同じもの。通りに面した4ヵ所の小路入口には全国でも初めてのドーム形式を用いるなど完成が待たれます。

第8回町民号は7月19日、20日松島と東北博めぐりをしました。松島町の歓迎行事の後、日本三景のひとつ松島に向い五大堂や伊達政宗ゆかりの瑞巌寺を見学、荘厳さに目を見張りました。二日目はお目あての東北博に一番乗り。30を超えるパビリオンに東北の未来を満喫した様子でした。帰りの列車内は盛りあがりごらんのとおり。

町民号「東北の未来」に夢を運ぶ



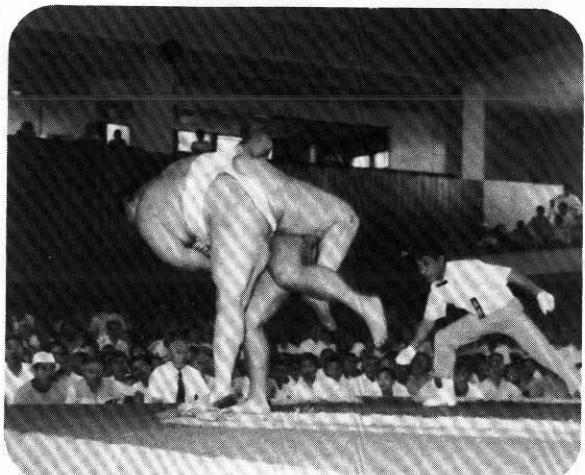
ハンゴウうまく炊けたかな

自然に親しみ共同生活をとおしてたくましいリーダー育成を目的とした第24回子供会キャンプが町内単位の子供会の代表125人が参加し7月30、31の両日開催されました。雨のため公民館分館に移動しましたが、自分たちでご飯を作ったりゲームを楽しむなど見知らぬ仲間と友情を深め、思い出多いキャンプとなりました。



ことで18回目をむかえた全日本大学選抜相撲秋田大会は7月26日鷹巣体育館で開催され、東日本、西日本の予選を勝ちぬいた12校84人が出場。朝から2,000人を超す観衆が詰めかけ、巨漢どおしの激突に盛んな声援を送っていました。結果は団体戦で中央大学、個人戦は斎藤（日体大）が決勝で久島（日大）を破り優勝しました。

斎藤、久島の四連霸はばむ



の劇場



南小学校二年

ふじわら はるひこくん



「ボランティア活動」といわれる何かしら身構えてしまったり、ボランティアについて話し合うと、短兵急な気持ちでやらなければと思いつこんでしまう人も意外に多いようになります。

す。また、相手に「やってあげる」という押しつけを感じさせるようでは、ボランティア活動とはいえないとも考えています。

坊沢大町
嶺 脇 シズエ(58)



今月のテーマ「ボランティア活動」

対談 親の意見・子供の意見

次のように考えています。

定年退職し、趣味に生きることにしていたが、熱心な子ども達と父兄に動かされ、地元糠沢で寺小屋を十二年開きました。予期していなかつたことだったので、共に学びあつたことが強く心に残っています。成長し

「ふるさとは遠きにありて思うもの」とか申します。長いことお世話になつたふる里の方達と別れ、息子の所に来たのは五十三年の秋です。

王子 渡辺 妙子(73歳)

A black and white portrait of Setsuko Thurlow. She is an elderly woman with short, light-colored hair, wearing glasses and a dark shawl with a small, repeating pattern over a light-colored collared garment. The background is dark and textured.

空気のよい所です。昨年の暮、ここの大寿会（老人クラブ）に入会し、趣味教室で七十の手習いを始めました。覚え難く、忘れ易いのに驚きながら練習で一日が短かく思うこともあります。

ふる里は美しく懐しい思い出

ふるせと。みなせん。



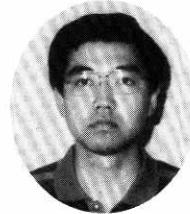
南小学校一年
みやこし えりこちゃん



みんな



吉野子供村に参加



南鷹巣工藤 敏明(26)

五月三日、鷹巣青年会と坊沢青年会そして鷹巣ロータリークラブの三団体で、「吉野子供の村まつり」にボランティアとしてお手伝いになりました。

総勢二十人の私たちは輪投げ、ソフトクリーム、焼き鳥

余暇の時間がが多くなりそうですが、皆さんには余暇の時間をどう使いですか。できるならば、ちょっとだけ地域の福祉活動に参加し、何かに役立つたらいかがでしようか。今の時代は「自分たちの地域は自分たちでつくる時代」かと思います。

約十二万トンに上ります。

枝豆の成分は、大豆によく似ていますが、大豆にはほとんどないビタミンCを百グラム中三十ミリグラムも含んでいます。

枝豆の成分は、大豆によく似ていますが、大豆にはほとんどのビタミンCを百グラム中三十ミリグラムも含んでいます。それが特色。それに鮮やかな緑色と歯ごたえは枝豆ならばこそそのものでしよう。ただし、こうした特色は時間とともにどんどん変化します。買

う時は、菜や茎の緑色が濃くふっくらとしたさやがそろった新鮮なものを選ぶように。



「ビールの友」という肩書き(?)

という肩書き(?)

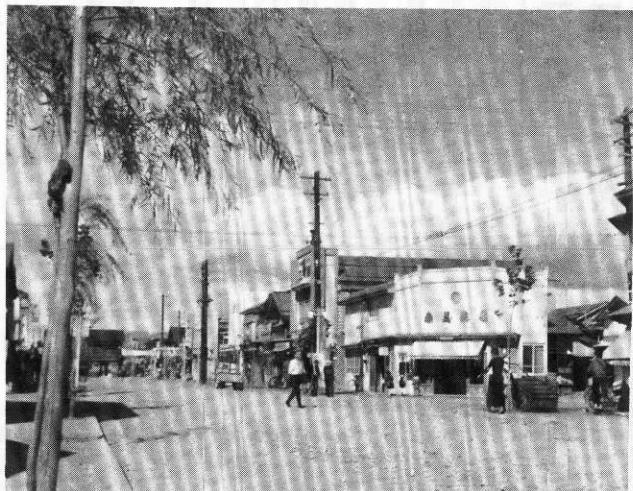
付きで店頭に並ぶ枝豆。抑制や促成栽培、冷凍、あるいは海外からの輸入などで、ほぼ一年中出回っていますが、旬はやはり夏です。

大豆の自給率は5%を切るというのに、未熟大豆の枝豆は国産が主流で年間の生産は

かを教えてもらつたり、一緒に作つたりしながら、共に学ぶ姿勢を保ちながらすすめにこうと話し合つております。

私たちちは日ごろ地域に役立つ団体であり、個人であります。これかといと考へております。これらの社会は労働時間が減り、余暇の時間が多くなりそうです。皆さんは余暇の時間をどう使いですか。できるならば、ちょっとだけ地域の福祉活動に参加し、何かに役立つたらいかがでしようか。今の時代は「自分たちの地域は自分たちでつくる時代」かと思

写真は昭和30年代の銀座通り商店街の交差点付近。当時は小木曾医院で経営した「赤玉薬局」(現在の秋田相互銀行)。道路も未舗装で、リヤカーで行商して居る人など。大火後の都市計画によって、街並みは立派になり、町の繁華街となつた。(福原剛氏提供)



たかのすの昔

